

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 4 月 11 日作成)

委員会名	JASS2 (仮設工事) 小委員会	主 査 名 : 松崎育弘
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会	委員長名 : 嵩 英雄
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本小委員会の設置目的は、JASS2 の前回の改定 (1994 年 11 月) から既に 10 年が経過したが、建築工事を取り巻く大きな環境の変化に対応し、多くの現場工事担当者に利用される、仮設工事標準仕様書に改定することである。	
委員構成 (委員名 (所属))	松崎育弘 (東京理科大学), 高田博尾 (早稲田大学), 瓜茂雄 (大成建設), 大幡勝利 (産業安全研究所), 岡野正 (クレーン協会), 小野原大 (大林組), 棚隆 (清水建設), 東海林菊夫 (仮設工業会), 藤井卓美 (竹中工務店), 藤原和浩 (建設業労働災害防止協会), 宮坂達 (鹿島建設), 中野克彦 (新潟工科大学)	
設置 WG (WG 名 : 目的)		
2004 年度予算	160,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 4 月 21 日 (6 名), 6 月 9 日 (8 名), 9 月 6 日 (8 名), 11 月 11 日 (5 名), 12 月 20 日 (8 名), 2005 年 1 月 26 日 (8 名), 2 月 28 日 (5 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2004 年度には、計 7 回の小委員会を開催した。2003 年度に作成した新 JASS2 の原案、および基本方針にしたがって解説文を作成した。基本方針を以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 標準仕様書としての性格をいつも念頭に置き、かつ性能規定への対応も考慮し、多くの人に利用される内容とする。</li> <li>2) 単位、技術、制度、法規等で、変更や陳腐化した部分の改定および誤記の訂正を行う。</li> <li>3) 社会や技術の変化に伴う内容 (工事現場でのヒューマンエラー、IT 技術の工事現場への普及、建設発生土および土壌汚染、グリーン調達、ゼロエミッション、建設リサイクル等) を追記する。</li> <li>4) 過去 10 年間の新しい技術、研究等をもりこむ。</li> </ol> <p>上記の基本方針に加え、旧 JASS2 に盛り込めなかった「仮設工事計画」の節を新たに追加し、標準的な仮設計画図を示すこととした。</p> <p>委員会 HP アドレス :</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の 2004 年度における活動計画は、2003 年度に作成した新 JASS2 の本文および基本方針にしたがって、解説文を完成させることである。2004 年度の活動では、解説文がほぼ完成し、用語等をまとめる段階であることから、十分な成果が得られたと考えられる。</p>
その他評価すべき事項	